

星空を隔てて今日の人なれば
敷きて渡らむ青きもみじ葉

令和三年七月七日

大中臣正比呂



今日は七夕だから、京の都みやこに離れて住むあなたに、

まだ青い紅葉もみじの葉だけれど、天の川に敷き詰めて

渡って逢いにいきましよう。

七夕は旧暦では秋の頃となる。端唄はうた「紅葉の橋もみじ」では、天の川を挟んで

住む、織り姫と彦星との逢瀬おうせの為に、鵲かささぎが紅葉を嘴くちばしで運んで川に敷

き詰めて、渡してあげると云う。それとも、紅葉もみじが橋の袂たもとから向こうへ

枝を差して「カササギ橋」を渡してあげるのだろうか。